

新型コロナウイルスの情報

現在流行しているオミクロン株は喉粘膜に局限した「典型的な喉風邪ウイルス」です。

世界的に重症化率は低く、指定感染症2類相当をインフルエンザ同様の5類以下に格下げして、開業医が早期治療できるようになれば、高齢者の重症化を抑制することが可能です。

コロナウイルス7回目PCR陽性波

集団の中に新しいウイルスが入り込むと、はじめは集団の中で感染が広がります。

ところが、感染して免疫力を獲得した人が集団の中で一定の割合を超えると、ウイルスは新たな宿主を見つけるのが困難になり、それ以上感染が広がらなくなります。

すると感染の波はピークを越えて山が下がります。

これが集団感染を獲得した状態です。

ウイルスは常にランダムに変異し続けています。

その中から前の株よりも感染力の強い新株が出現すると、

旧株を上書きするように集団の中で感染が広がります。

しかし、この集団は前の株に対する免疫を獲得しているので、

類似の病原体に対して作用する免疫（交差免疫）が働き、

死亡率や重症化率は低くなります。

その集団の中で感染がピークを迎えると波の山は再び下がり始めます。

このようにして、ウイルスの変異に免疫系が対応し、新変異株に対する集団免疫が更新されていきます。

東アジアの人は昔からカゼの一部（10～15%）に感染してきた

だから免疫を

持っていた！

旧型コロナ

1, 2, 3, 4
4種類ある

SARS MERS

この2つは感染力は低い
重症化率は高かった

新型コロナ

130年前に『ロシア風邪』で流行パンデミックを起こしたのが1年でほぼ収束した。
このウイルスと同様のタイプがはじまり「昔、流行していたウイルスと似たヤツが流行したのだ」

こういうタイプのウイルスが出現しなければ大丈夫

2週間に1回
変異し続けている！

オミクロンで重症化しない理由

2021年夏までのアルファ株からデルタ株までの新型コロナウイルスによる病態は、さまざまな臓器の血管障害や血栓症が主な原因だったのです。

ところが、オミクロン株では多くの突然変異によりウイルスの表面にあるスパイク（突起）の構造が激変しました。

オミクロン株は、アルファ、ベータ、ガンマ、デルタなどの株とは独立して、武漢で誕生した初期の株に近い幹株から独自に変異してきた株であることがわかっています。

オミクロン株の感染力は武漢の新型コロナウイルスの約10倍、

それ以前の旧型コロナウイルスの約60倍も強くなり、

10日間で集団の約50%に感染します。

口や鼻から入ってきたオミクロン株は、

喉や上気道の粘膜に簡単に吸着します。

感染で喉が痛くなるのは、誰もが子供の頃から

経験してきた典型的な風邪の症状です。

第6波以降は血栓で重症化する人が激減した理由もオミクロン株が喉の粘膜組織に限局的に結合するからなのです。

参考書籍「マスクを捨てよ、町へ出よう」（井上 正康、松田 学）



現在の新型コロナウイルスは...

- ノドに局限するカゼ
- 感染力の強い、重症度の低いカゼ

お知らせ

岐阜市の漢方外来 9月17日(土)

時間:14:00-17:30 場所:中島小児科(岐阜市鍵屋東町2-1) ※すべて「院外処方」です。

小児夜間急病センター当番日 9月9日(金)

時間:19:30-22:30(受付) 場所:岐阜市民病院

もとす休日診療所 9月11日(日)

休診のお知らせ 9月14日(水)